

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙２）

団体名	NPO 法人アイゼン
-----	------------

取組の名称	百合ヶ丘・新百合ヶ丘・柿生片平・南生田・中野島子ども食堂
実施場所	<p>① 百合ヶ丘会場 百合丘ルミナス保育園 麻生区百合丘 1-19-2</p> <p>② 新百合ヶ丘会場 麻生プレップスクール 麻生区万福寺 1-10-10</p> <p>③ 柿生片平会場 「結」ケアセンターあさお 麻生区片平 2-22-1-103</p> <p>④ 南生田会場 「結」ケアセンターいくた 多摩区南生田 1-31-7</p> <p>⑤ 中野島会場 「結」ケアセンターたまがわ 多摩区中野島 1655-1</p>
対象地域	<p>① 百合ヶ丘駅周辺</p> <p>② 新百合ヶ丘駅周辺</p> <p>③ 柿生駅周辺</p> <p>④ 南生田 1 丁目周辺</p> <p>⑤ 中野島駅周辺</p>
対象地域の特色・課題	<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新興住宅や高級マンションがあり、共働きの子育て世代が多くいる。 ・貧困家庭も混在しているが、保護者は周囲から貧困がわからないように努力している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域と比べ、移住してきた人や、職場が都内などの人も多く、地域との関わりが少ない。 ・小田急線が谷沿いにある、その両側が丘になっているような地形で、坂が多く、商店街や飲食店は駅前に集中している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の問題や保護者の共働きといった環境から、子どもにとってまちのひろば的な居場所が少ない。 ・共働き家庭に対する支援が少ないと感じている人が多い。 ・学生が望むボランティア活動の場が少ない。 		
<p>取組の趣旨・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学童や習い事から帰った後、1人で夕食をとっている子どもや、子育てを頑張るパパ・ママが、地域で安心・安全を感じることが出来る居場所作りを目指す。 ・子ども・若者が健やかに成長出来るよう、地元法人や店舗。地元住民や学生と連携・協働しながら、地域のつながり、互いに助け合い、支え合うことの出来るまちづくりを目指す。 ・地域の方が気軽に集まることが出来る地域の居場所をつくることで居心地の良い街にしたい。 		
<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>実施内容：カレーライスなどの提供 実施スケジュール：毎月第3木曜日 （3月は第3木曜日が祝日だったため、第3金曜日に実施） 4月18日・5月16日・6月20日・7月18日・8月15日・ 9月19日・10月17日・11月21日・12月19日・1月16日・ 2月20日・3月21日</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>子ども 0歳～15歳 保護者 25歳～45歳 地域の方：～70歳</p>	<p>定員 (1回あたり)</p>	<p>200人程度</p>
<p>実施頻度</p>	<p>月1回 毎月第3木曜日</p>	<p>活動日数 (年間)</p>	<p>60日 (5会場×12回)</p>

<p>スタッフ体制</p>	<p>開催場所のスタッフの協力 お手伝いいただいている人は200名を超えている。1回あたりのお手伝いは40～60名程度。会場の保育士さんや介護士、店員さん、地域住民の方などにもご協力いただいている。運営は主に大学生が行っており、会場に近い地元の方と連携をしながら行っている。理事は、運営のサポート・コーディネートをして裏方に回っている。</p>
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区の保育園・幼稚園・小学校・中学校等20か所以上に毎月チラシを配布させていただくことで子ども食堂の認知度も高まり、参加者数も増えているように感じる。 ・また、Instagramやお電話、メール等でのボランティアの応募や寄付等について多くのお問い合わせを頂いている。 ・地元の農家さんや企業、地域住民の方から収穫物やお米、お菓子等のご寄付を頂く。頂いたものをカレーの材料や子ども食堂に来てくださった方に配布している。 <p>【地域の方からのご寄付】</p>   <p>【地域のデイサービスのご利用者さんにチラシ配布のご協力を頂きました。】</p>  



【子ども食堂の様子】

取組実施により
見込まれた効果

- ・毎月チラシを配布することで、子ども食堂の認知度が高まり、毎回新たな参加者が来てくださったことに加え、継続的に参加して下さる方も増え、子ども食堂が地域の一つの居場所になっていると感じた。
- ・保護者から「毎月開催してくれて助かる」「普段、余り食べない子どもここだと食べてくれる」「お兄さんお姉さんと遊べて子どもも楽しそうで嬉しい」等といったお声を頂くことができ、働くパパ・ママへの支援につながっていることが実感出来た。